

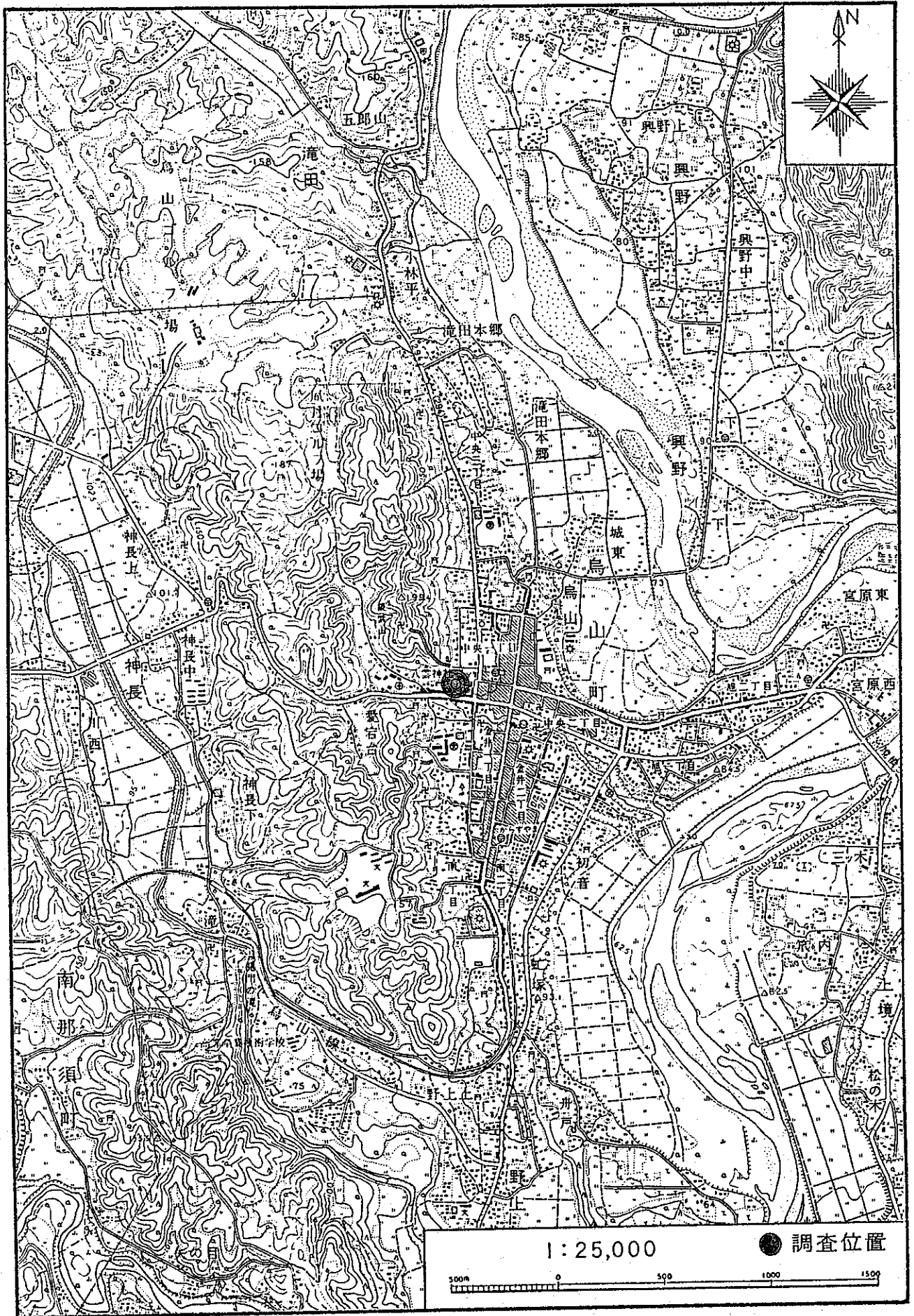
ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

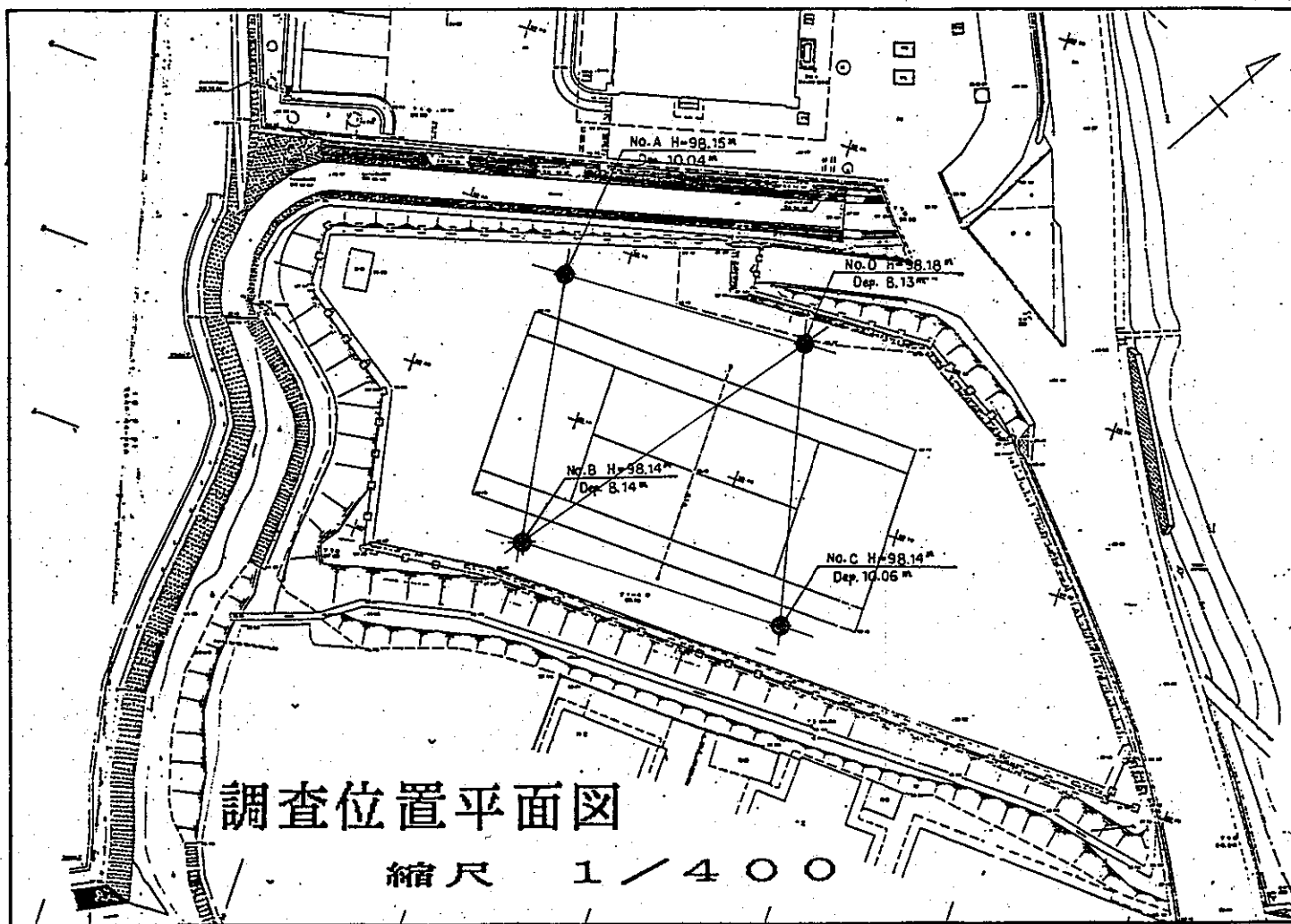
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

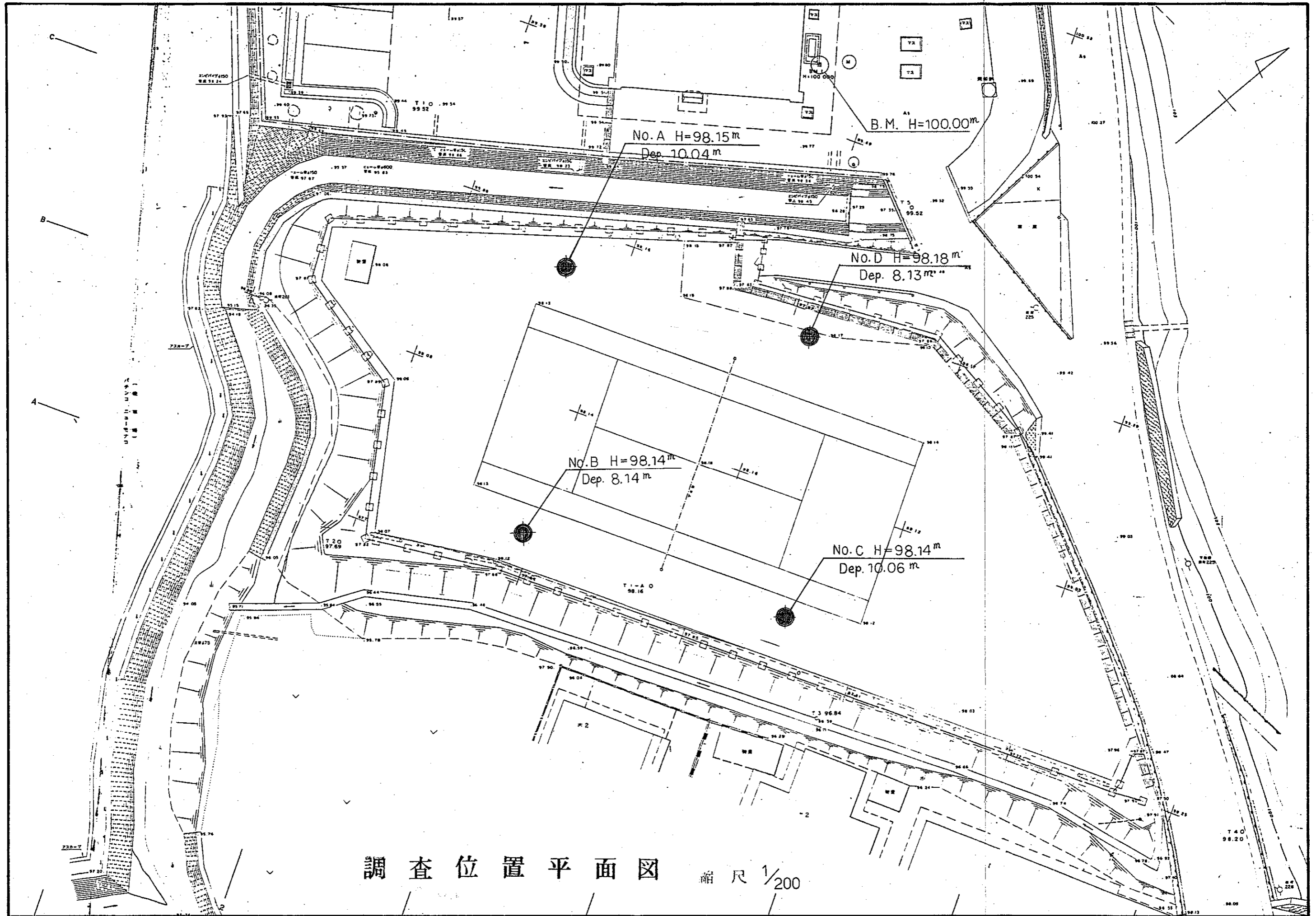


調査位置案内図

凡 例



地質時代		地層名
新生代	沖積世	表土層
		沖積粘性土層
第四紀	洪積世	洪積砂礫層
		洪積粘性土層
中生代		基盤岩類



ボーリング柱状図

調査名 南那須庁舎別館新築工事（地質調査）

ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	No. A			調査位置	栃木県那須郡烏山町中央1-6-92			北緯
発注機関	栃木県土木部建築課			調査期間	平成2年6月7日～2年6月8日			東経
調査業者名	主任技師			現場代理人	コバヤシ			ボーリング責任者
孔口標高	H= 98.15m	方角	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	試験機	ハンマー 落下用 ポンプ			コバヤシ
総掘進長	10.04m	角度	180°上 90° 180°下	使用機種	b-1			コバヤシ

シートNo.

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相對稠密度	相對密度	記	試料番号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験			原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試験採取 試料番号	採取方法	掘進月日
										10cmごとの 打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値					
97.65	0.50		シルト	暗灰	軟い、非常に軟い		アスファルトや砕石からなる上部は硬土状を呈する少量の礫や木片含む粘土中2m付近より下部は少量の腐植物を含む極少量の砂含む	1	8.7	1.15	1	2	4	30			6/7
95.45	2.20		シルト	暗灰	軟い、非常に軟い		体に入らぬ	2	2.05	2.50	6	5	8	19			6/7
93.25	2.20		シルト	暗青灰	中位の密な		φ5~30%程度の角礫や面円礫主体に混入する所々にφ60~100%程度の礫や五石も点在しているものもある礫は風化しているものも50~130%程度のものも含む	3	8.7	3.45	8	13	34	30			6/7
88.11	5.14		頁岩	暗灰	軟い、非常に軟い		風化激しく送水網りではコアとならない一部には礫状として採取される所もある7m付近は硬く、コアφ10~40%程度の礫状として採取される風化激しい	4	8.7	4.45	50	6	50	6			6/7
83.07	5.14		頁岩	暗灰	軟い、非常に軟い		風化激しく送水網りではコアとならない一部には礫状として採取される所もある7m付近は硬く、コアφ10~40%程度の礫状として採取される風化激しい	5	8.7	5.21	50	6	50	6			6/7
77.93	5.14		頁岩	暗灰	軟い、非常に軟い		風化激しく送水網りではコアとならない一部には礫状として採取される所もある7m付近は硬く、コアφ10~40%程度の礫状として採取される風化激しい	6	8.7	6.00	50	6	50	6			6/7
72.79	5.14		頁岩	暗灰	軟い、非常に軟い		風化激しく送水網りではコアとならない一部には礫状として採取される所もある7m付近は硬く、コアφ10~40%程度の礫状として採取される風化激しい	7	8.7	7.00	50	6	50	6			6/7
67.65	5.14		頁岩	暗灰	軟い、非常に軟い		風化激しく送水網りではコアとならない一部には礫状として採取される所もある7m付近は硬く、コアφ10~40%程度の礫状として採取される風化激しい	8	8.7	8.00	50	6	50	6			6/7
62.51	5.14		頁岩	暗灰	軟い、非常に軟い		風化激しく送水網りではコアとならない一部には礫状として採取される所もある7m付近は硬く、コアφ10~40%程度の礫状として採取される風化激しい	9	8.7	9.00	50	6	50	6			6/7
57.37	5.14		頁岩	暗灰	軟い、非常に軟い		風化激しく送水網りではコアとならない一部には礫状として採取される所もある7m付近は硬く、コアφ10~40%程度の礫状として採取される風化激しい	10	8.7	10.00	50	6	50	6			6/7

ボーリング柱状図

調査名 南那須庁舎別館新築工事（地質調査）

ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	No. C		調査位置	栃木県那須郡烏山町中央1-6-92	北緯
発注機関	栃木県土木部建築課		調査期間	平成2年6月9日～2年6月11日	東経
調査業者名	主任技師	現場代理人		コブアア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	H=	方向	試験機	ハンマー	コロンブリー
総掘進長	98.14m 10.06m	180°上 90° 0°下	エンジン	落下用具	ポンプ
		鉛直 90°			

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相対稠度	相対密度	記	試料番号	孔内水位 (m)	測定月日	標準貫入試験		原位置試験		試験採取		掘進月日
												10mごの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	深度 (m)	試験名	試験番号	採取方法	
97.74	0.40	0.40	素土	暗灰	非常に軟い	軟い	アスファルトや碎石からなる	1	1.15	0.1020	6/9	2/30	1.15					6/9
94.69	3.06	3.45	シルト	暗灰 ~ 暗茶灰			上部は埋土状を呈する 少量の根や腐植物を含む 2.50m以深は若干隙隙土状を呈する	2	1.45	102030	6/9	2/30	1.45					6/9
94.24	0.45	3.91	砂	暗灰			φ5~50%程度の砂混入する	3	2.15		6/9	4/30	2.15					6/9
88.03	6.16	10.06	頁岩	暗灰 ~ 暗青灰 ~ 暗灰			風化激しく、コアはφ5~20%程度の角礫状として少量採取される 所々粘土状を呈する コア採取部は良くない 6.50~7.70m間は粘土状を呈する 所々砂岩を挟む 9.70m付近より所々礫状コアとなる	4	2.45		6/11	50/12	2.45					6/11
								5	2.75			50/7	2.75					
								6	3.15			50/7	3.15					
								7	3.45			50/7	3.45					
								8	4.15			8/4	4.15					
								9	4.27			50/2	4.27					
								10	5.15			50/2	5.15					
								10	5.22			50/2	5.22					
								10	6.15			50/2	6.15					
								10	6.39			50/2	6.39					
								10	7.05			50/2	7.05					
								10	7.07			50/2	7.07					
								10	8.00			50/2	8.00					
								10	8.03			50/2	8.03					
								10	9.00			50/2	9.00					
								10	9.06			50/2	9.06					
								10	10.00			50/2	10.00					
								10	10.06			50/2	10.06					

ボーリング柱状図

調査名 南那須庁舎別館新築工事（地質調査）

事業・工事名

ボーリング名	北緯	
発注機関	栃木県那須郡烏山町中央1-6-92	
調査業者名	調査期間	平成22年6月13日～22年6月14日
孔口標高	現代理人	ア コ 鑑 定 者
総掘進長	使用機種	ハンマー 落 下 用 具 ボ ン プ
	主任技師	b-1
	方位	北 270° 西 180° 東 90° 南
	角	180° 上 下 90°
	H=	98.18m
		8.13m

ボーリングNo.

シートNo.

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色	相対稠度	相対密度	記	試料番号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	掘進月日
											深 (m)	度 (m)	値	結果			
1	0.80	97.38		表土	灰			上部は埋土状を呈する 下部は粘土湿り砂礫 0.50mより下部は粘土湿り砂礫	1	1.15	1.20	5			6/13		
2	2.00	95.38		粘土	暗茶灰、暗灰	非常に軟い		上部は埋土状を呈する 少量の礫や腐植物含む φ5~10%程度の角礫含む	2	1.45	1.45	30			6/13		
3	0.60	94.78		粘土湿り砂礫	暗青灰	軟い		3.10mまでは砂礫の粗粒土 φ5~50%程度の礫混入する 風化激しく、コアはφ5~10%程度 の角礫状として少量採取される 所々粘土状を呈する コア採取時は良くない	3	2.15	2.45	26			6/13		
4	4.73	90.05		頁岩	黒灰、青灰、黒灰			7.00~7.20m間は粘土状を呈する 7m付近は凝灰質砂岩 所々砂岩を挟む 7.20~7.80m間は5~15cm 程度の塊状コアとなる 7.80mより下部は送水掘りでコアとならない	4	3.15	3.45	50			6/14		
5	8.13	81.92		頁岩	黒灰、青灰、黒灰				5	4.15	4.20	50			6/14		